

みんなの医療



事業所

長野中央病院
南長池診療所
稲里生協クリニック
老人保健施設ふるさと
徳間デイサービスたんぼぼ
三本柳デイサービスミント
戸倉デイサービスゆいっこ
グループホーム栗田ゆうゆう

グループホーム南長池れんげそう
長野中央介護センターつるが
在宅総合ステーションながの
(ケアマネジャー・訪問介護)
訪問看護ステーションながの
つるがりハビリセンター
ショートステイつるが
高齢者住宅つるがの風

発行 長野医療生活協同組合

〒380-0814 長野市西鶴賀町1570 TEL(026)234-1476 FAX(026)234-1493

E-mail:chiiki@healthcoop-nagano.or.jp

ホームページ:http://www.healthcoop-nagano.or.jp

●現勢(2019年2月18日現在)生協組合員…6万5060人 出資金…16億1287万円

「国民健康保険料」

さらに
引き上げ!?

所得の2割とは高すぎます!

国民健康保険制度(国保)は、医療を受ける権利を国が保障する社会保障制度のひとつです。被用者保険と後期高齢者医療に加入する人を除くすべての国民が加入していますが、国保料が高すぎるという大きな問題を抱えています。

【表1】
国保料は被用者保険に比べ高い

※被保険者1人当たり	保険料	平均所得	比率
長野市国保(2017年度)	113,000円	53万円	21.3%
協会けんぽ(2015年度)	107,000円	142万円	7.6%
組合健保(2015年度)	118,000円	207万円	5.7%

長野市の国保料は国保加入者の平均所得の2割を超えます。協会けんぽや組合健保に比べ、不公平ともいえる高さです(表1)。長野市国保の滞納世帯は7546、加入世帯の15%を超えています。

現在の国保加入世帯の約4割は高齢者や無職の人です。また約3割は収入が不安定な非正規労働者です。年齢構成では多くは高齢者です。病気になりやすく、医療費も多くかかりやすい。国保は、「加入者の所得は低いのに保険料は高い」という構造的な問題を抱えています。

2018年、長野地区社会保障推進協議会(事務局・長野医療生協)は長野市国保加入者にアンケートを実施し183人の回答を得ました。結果は7割

高すぎて国保料が払えない!

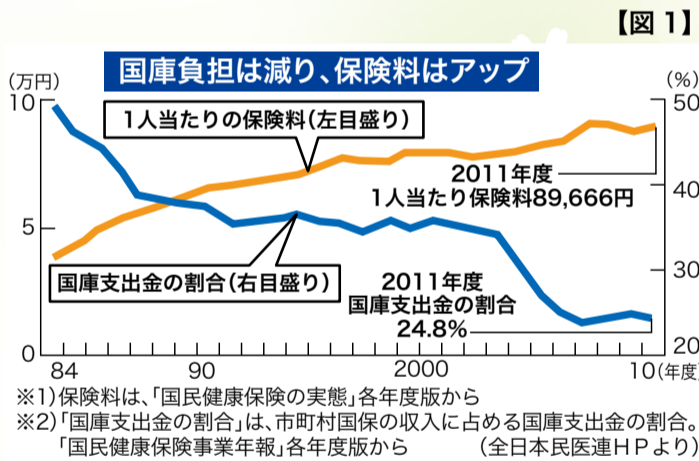
高すぎる国保料の原因は、国の国庫負担率が30年余りで半分に引き下げられたこと(図1)と、家族の人数に比べてか知られる「均等割」です。全国知事会、中核市市長会なども「国庫負担の拡大による財源強化」を主張しています。

このような中、長野市は19年度の国保料を引き上げる計画を明らかにしています。

この背景には、18年4月から始まった国保の「県単位化」があります。これまで長野市は一

原因は国の公費削減と均等割

以上が国保料を「高い」と回答。経済的理由で受診を控えたり、中断したりした人が13.1%いました。



【表2】
2年おきに国保料引き上げの計画(長野市)

年度	料率	1人当たり保険料	1世帯当たり保険料
2018	7.90	11万1000円	16万5200円
2019	8.20	11万3900円	16万9500円
2020	8.20	11万3900円	16万9500円
2021	8.50	11万6700円	17万3800円
2022	8.50	11万6700円	17万3800円

(「長野市国民健康保険事業 第一期財政健全化計画」より)

新しい県議会が国保の扱いを決める

4月の県議会議員選挙は、県単位化された国保をどうするか問われる選挙でもあります。県は法定外繰入れや独自給付を行う市町村の自主性を尊重して住民の受療権を守るべきです。県の一般財源からの拠出を行うこと、国の拠出額を増やすよう国に求めることが必要です。

(長野地区社会保障推進協議会 事務局次長・藤本ようこ)

一般会計から約10億円の法定外繰入れを行って国保料を抑えてきましたが、国と県が市町村に法定外繰入れをやめるよう指示したため、法定外繰入れを縮小する方針に転換したのです。これにより国保料の引き上げは避けられません(表2)。

待合室

沖繩の辺野古新基地埋め立ての賛否を巡る2月24日の県民投票が、ついに全市町村で実施されることになりました。その成功に向けた「キックオフ集会」が新基地現場の米軍キャンプ・シユワブ前で開催され、私も参加してきました▼集会では、県民投票連絡会代表の稲嶺進前名護市長が「辺野古ノーの意思をはつきり示そう。3択だろうが10択だろうが、反対に〇！こころ一つにして頑張ろう」と訴えました。「沖繩のことは沖繩県民が決める」と安倍政権の強権に対抗するオール沖繩の姿に、無関心ではいられません▼世界一危険といわれる普天間基地では、平日約20機のオスプレイが離発着し住民は事故の危険や騒音に苦しめられています。安倍政権は約束した「5年以内の運用停止」を反故にしています。普天間基地の一日も早い閉鎖・撤去と辺野古新基地建設断念がなければ、沖繩にも日本にも本当の平和は訪れません。